

保護者向け 児童発達支援自己評価表

回収 73 名 / 配付 91 名

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	無回 答	改善目標・取り組みとして
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	63	2	1	7		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	55	5		13		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	57	2		14		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	66	3		4		職員も衛生面には気を配っているが、個々に感じ方は違った。児童が靴下を履いての生活では転倒の危険性が高まる事、上靴の生活では管理が困難な事が上がった。安全を第一に衛生面の対策を行っていく為には床材の張替も検討していく。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	71	2				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	54	4		15		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	68	2		3		
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	60	5		8		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	32	9	2	30		今年度はコロナ禍の為、実施していない。今後、どういった方向性で進めていくかは検討を重ねていく。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	改善目標・取り組みとして
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	62	4	1		6	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	60	2	1	4	6	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか	32	11	5	20	6	今年度はコロナ禍の為、実施していない。今後、どういった方向性で進めていくかは検討を重ねていく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	57	8		2	6	保護者として、我が子の情報が詳しく知りたいという気持ちがあると感じた。連絡帳、週間記録では、送迎時に保護者に合えない家庭とは密な情報交換は難しい部分がある。週間記録の様式を変更する、電話での情報共有を細かに行うことで対応できると考えられる。必要な情報を伝えることができるよう調整していく。また、特に新規児童のご家族へは最初のアセスメント以外でフィードバックの機会が少なく、療育施設を利用することでどういった変化があるかを知りたい方が多くいると思われる。利用1か月後に面談や電話での様子伺い等を行い、共通理解を図っていく。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	57	8		2	6	今年度はコロナ禍の為、実施していない。今後、どういった方向性で進めていくかは検討を重ねていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25	11	7	25	6	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	60	4		2	7	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	59	4		3	6	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	9	7	24	7	年に1度自己評価を行い、事業所HPにて不特定多数の方が閲覧できるようにしている。
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	56	1		10	6		
非常時等の	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	48	5		14	6	

区 分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回 答	改善目標・取り組みとして
対 応	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	44	4		19	6	
満 足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	65	5	1		2	
	23 事業所の支援に満足しているか	64	5		2	2	

(注釈)

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....  
(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

子どもの事についていつも親切で丁寧な対応をしていただいております。子どもも楽しんで通っているようです。支援内容も子どもが楽しんでできるように工夫しているようで、詳しく報告してくれてどんなふうに支援を受けているか分かりやすいです。支援内容については、病院や幼稚園からも素晴らしいと言ってもらえて大変満足しています。特に悪い所や気になる点はありません。スタッフのみなさんもいつも笑顔で気持ちいいです。

子どもは楽しそうに通所しているので特に気にしておりませんが、面談等でしか保護者が来所する機会がなく、普段の状況を見ることがないので、よくわからないことが多いです。

子どもにも保護者にも丁寧に関わってくださり、臨機応変に対応していただいております。いつもありがとうございます。